

第1部「原風景のものづくり」

講師 綾の手紬染織工房 創設者 秋山 眞和

第2部「蚕と歩んだ50年の研究人生」

講師 元 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 所長 新保 博

日時：2025年3月14日（金）14:00～16:00

場所：蚕糸会館6階会議室およびオンライン併用

- (1) 大日本蚕糸会では、蚕糸業が近代日本の発展に貢献してきた歴史や蚕糸業の文化的な重要性について、多くの方々に理解を深めていただく機会として、3月14日を「蚕糸の日」と制定しました。これを記念して、永年蚕糸絹業の振興発展に貢献され、大日本蚕糸会主催の令和6年度蚕糸功績賞を受賞された秋山眞和氏と新保 博氏をお招きして『3月14日「蚕糸の日」記念講演会』を開催しました。
- (2) 講演会には、蚕糸絹業関係の企業の方、養蚕農家の方、大学・試験研究機関の方、一般の方など、会場に33名、オンラインで66名、合計99名の多くの方々にご参加いただきました。
- ・第1部「原風景のものづくり」と題して、秋山様よりご講演いただきました。秋山様の綾の手紬染織工房の原点や、桑園管理から蚕品種「小石丸」の飼育、座繰りによる糸作り、藍染などの染色、織りまでの一連の工程のものづくりに対する情熱を感じさせるご講演でした。
 - ・第2部「蚕と歩んだ50年の研究人生」と題して、新保様よりご講演いただきました。新保様の1973年農林省蚕糸試験場入省から2023年大日本蚕糸会蚕糸科学技術研究所退職までの50年にも渡る蚕との研究人生を振り返ってのご講演でした。



秋山 眞和 氏のご講演



新保 博 氏のご講演

【参考】大日本蚕糸会では、3月14日の「蚕糸の日」を含む1か月を「蚕糸月間」とし、わが国の蚕糸業に関して理解を深めていただくイベントや、国産繭・生糸の付加価値向上等の取組を、関連イベントとしてホームページで公開しています。